

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 11 日 (2013.4.11)

【公表番号】特表 2012-531411 (P2012-531411A)

【公表日】平成 24 年 12 月 10 日 (2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2012-052

【出願番号】特願 2012-517509 (P2012-517509)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/355 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/355

A 6 1 P 25/28

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 21 日 (2013.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

広汎性発達障害 (PDD) の処置を必要とする患者において、広汎性発達障害 (PDD) に関連する症状を軽減するか、または、広汎性発達障害 (PDD) を処置もしくは抑制するための組成物であって、治療有効量または生理的有效量のトコトリエノール、トコトリエノールエステル、トコトリエノールエーテル、トコトリエノール濃縮抽出物、またはこれらの混合物を含む、組成物。

【請求項 2】

前記処置を必要とする前記患者が、自閉症、アスペルガー障害、小児期崩壊性障害 (CD)、レット障害、および特定不能の PDD (PDD-NOS) に関連する症状を示す、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記組成物が、- トコトリエノール、 - トコトリエノール、 - トコトリエノール、 - トコトリエノールおよびこれらの混合物からなる群より選択される治療有効量の 1 つまたは複数の作用物質を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記組成物が、治療有効量の - トコトリエノールを含む、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記組成物が、酢酸トコトリエノール、コハク酸トコトリエノール、リン酸トコトリエノール、アスパラギン酸トコトリエノール、グルタミン酸トコトリエノール、パルミチン酸トコトリエノール、ニコチン酸トコトリエノール、およびポリエトキシ化トコトリエノールから選択される治療有効量の 1 つまたは複数の作用物質を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記組成物が、酢酸 - トコトリエノール、コハク酸 - トコトリエノール、リン酸 - トコトリエノール、アスパラギン酸 - トコトリエノール、グルタミン酸 - トコトリエノール、パルミチン酸 - トコトリエノール、ニコチン酸 - トコトリエノール、およびポリエトキシ化 - トコトリエノールから選択される治療有効量の 1 つまたは複数の

作用物質を含む、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記組成物が、治療有効量のトコトリエノール濃縮抽出物を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

広汎性発達障害（PDD）の処置を必要とする患者において、広汎性発達障害（PDD）に関連する症状を軽減するための医療食品または食事食品であって、トコトリエノール、トコトリエノールエステル、トコトリエノールエーテル、トコトリエノール濃縮抽出物、またはこれらの混合物を含む治療有効量または生理的有効量の組成物を含む、医療食品または食事食品。

【請求項 9】

前記処置を必要とする前記患者が、自閉症、アスペルガー障害、小児期崩壊性障害（CDD）、レット障害、および特定不能の PDD（PDD-NOS）に関連する症状を示す、請求項 8 に記載の医療食品または食事食品。

【請求項 10】

- トコトリエノール、 - トコトリエノール、 - トコトリエノール、 - トコトリエノールおよびこれらの混合物からなる群より選択される治療有効量の 1 つまたは複数の作用物質を含むものである、請求項 8 に記載の医療食品または食事食品。

【請求項 11】

治療有効量の - トコトリエノールを含むものである、請求項 10 に記載の医療食品または食事食品。

【請求項 12】

酢酸トコトリエノール、コハク酸トコトリエノール、リン酸トコトリエノール、アスパラギン酸トコトリエノール、グルタミン酸トコトリエノール、パルミチン酸トコトリエノール、ニコチン酸トコトリエノール、およびポリエトキシ化トコトリエノールから選択される治療有効量の 1 つまたは複数の作用物質を含むものである、請求項 8 に記載の医療食品または食事食品。

【請求項 13】

酢酸 - トコトリエノール、コハク酸 - トコトリエノール、リン酸 - トコトリエノール、アスパラギン酸 - トコトリエノール、グルタミン酸 - トコトリエノール、パルミチン酸 - トコトリエノール、ニコチン酸 - トコトリエノール、およびポリエトキシ化 - トコトリエノールから選択される治療有効量の 1 つまたは複数の作用物質を含むものである、請求項 12 に記載の医療食品または食事食品。

【請求項 14】

治療有効量のトコトリエノール濃縮抽出物を含むものである、請求項 8 に記載の医療食品または食事食品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

他の態様では、たとえば、ASD 障害の個体を処置する、または個体の ASD 障害を抑制するなど、本明細書に記載の方法のいずれかのためにキットを使用してもよい。

本発明は、例えば以下の項目を提供する。

（項目 1）

広汎性発達障害（PDD）の処置を必要とする患者において、広汎性発達障害（PDD）に関連する症状を軽減するか、または、広汎性発達障害（PDD）を処置もしくは抑制する方法であって、トコトリエノール、トコトリエノールエステル、トコトリエノールエ

ーテル、トコトリエノール濃縮抽出物、またはこれらの混合物を含む治療有効量または生理的有効量の組成物を投与する工程を含む、方法。

(項目2)

前記処置を必要とする前記患者が、自閉症、アスペルガー障害、小児期崩壊性障害(CDD)、レット障害、および特定不能のPDD(PDD-NOS)に関連する症状を示す、項目1に記載の方法。

(項目3)

前記組成物が、        -トコトリエノール、        -トコトリエノール、        -トコトリエノール、        -トコトリエノールおよびこれらの混合物からなる群より選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含む、項目1に記載の方法。

(項目4)

前記組成物が、治療有効量の        -トコトリエノールを含む、項目3に記載の方法。

(項目5)

前記組成物が、酢酸トコトリエノール、コハク酸トコトリエノール、リン酸トコトリエノール、アスパラギン酸トコトリエノール、グルタミン酸トコトリエノール、パルミチン酸トコトリエノール、ニコチン酸トコトリエノール、およびポリエトキシ化トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含む、項目1に記載の方法。

(項目6)

前記組成物が、酢酸        -トコトリエノール、コハク酸        -トコトリエノール、リン酸        -トコトリエノール、アスパラギン酸        -トコトリエノール、グルタミン酸        -トコトリエノール、パルミチン酸        -トコトリエノール、ニコチン酸        -トコトリエノール、およびポリエトキシ化        -トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含む、項目5に記載の方法。

(項目7)

前記組成物が、治療有効量のトコトリエノール濃縮抽出物を含む、項目1に記載の方法。

(項目8)

広汎性発達障害(PDD)の処置を必要とする患者において、広汎性発達障害(PDD)に関連する症状を軽減するための医療食品または食事食品であって、トコトリエノール、トコトリエノールエステル、トコトリエノールエーテル、トコトリエノール濃縮抽出物、またはこれらの混合物を含む治療有効量または生理的有効量の組成物を含む、医療食品または食事食品。

(項目9)

前記処置を必要とする前記患者が、自閉症、アスペルガー障害、小児期崩壊性障害(CDD)、レット障害、および特定不能のPDD(PDD-NOS)に関連する症状を示す、項目8に記載の医療食品または食事食品。

(項目10)

        -トコトリエノール、        -トコトリエノール、        -トコトリエノール、        -トコトリエノールおよびこれらの混合物からなる群より選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含むものである、項目8に記載の医療食品または食事食品。

(項目11)

治療有効量の        -トコトリエノールを含むものである、項目10に記載の医療食品または食事食品。

(項目12)

酢酸トコトリエノール、コハク酸トコトリエノール、リン酸トコトリエノール、アスパラギン酸トコトリエノール、グルタミン酸トコトリエノール、パルミチン酸トコトリエノール、ニコチン酸トコトリエノール、およびポリエトキシ化トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含むものである、項目8に記載の医療食品または食事食品。

( 項目 1 3 )

酢酸 - トコトリエノール、コハク酸 - トコトリエノール、リン酸 - トコトリエノール、アスパラギン酸 - トコトリエノール、グルタミン酸 - トコトリエノール、パルミチン酸 - トコトリエノール、ニコチン酸 - トコトリエノール、およびポリエトキシ化 - トコトリエノールから選択される治療有効量の 1 つまたは複数の作用物質を含むものである、項目 1 2 に記載の医療食品または食事食品。

( 項目 1 4 )

治療有効量のトコトリエノール濃縮抽出物を含むものである、項目 8 に記載の医療食品または食事食品。

( 項目 1 5 )

広汎性発達障害 ( P D D ) の処置を必要とする患者において、広汎性発達障害 ( P D D ) に関連する症状を軽減するための、または、広汎性発達障害 ( P D D ) を処置もしくは抑制するためのトコトリエノール、トコトリエノールエステル、トコトリエノールエーテル、トコトリエノール濃縮抽出物、またはこれらの混合物を含む治療有効量または生理的有効量の組成物の使用。

( 項目 1 6 )

前記処置を必要とする前記患者が、自閉症、アスペルガー障害、小児期崩壊性障害 ( C D D ) 、レット障害、および特定不能の P D D ( P D D - N O S ) に関連する症状を示す、項目 1 5 に記載の使用。

( 項目 1 7 )

前記組成物が、 - トコトリエノール、 - トコトリエノール、 - トコトリエノール、 - トコトリエノールおよびこれらの混合物からなる群より選択される治療有効量の 1 つまたは複数の作用物質を含む、項目 1 5 に記載の使用。

( 項目 1 8 )

前記組成物が、治療有効量の - トコトリエノールを含む、項目 1 7 に記載の使用。

( 項目 1 9 )

前記組成物が、酢酸 - トコトリエノール、コハク酸 - トコトリエノール、リン酸 - トコトリエノール、アスパラギン酸 - トコトリエノール、グルタミン酸 - トコトリエノール、パルミチン酸 - トコトリエノール、ニコチン酸 - トコトリエノール、およびポリエトキシ化 - トコトリエノールから選択される治療有効量の 1 つまたは複数の作用物質を含む、項目 1 5 に記載の使用。

( 項目 2 0 )

前記組成物が、治療有効量のトコトリエノール濃縮抽出物を含む、項目 1 5 に記載の使用。